

プログラム変更について

平成30年3月9日

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

プログラム変更について

- 関係業界団体様及び個別のご利用者様から提出された第6次NACCSに対するプログラム変更要望は148件（※）
 - ご要望内容の精査、税関等関係省庁及び関係業界団体等の関係者との間で調整・検討を行い、プログラム変更案件を選定
 - ◆ 更改後、速やかに実施すべき案件については、平成29年度の緊急プログラム変更として20件を実施（別紙2）
 - ◆ 残る128件のうち平成30年度に実施したいプログラム変更案件として11件を選定（別紙1）
 - ✓ 情報処理運営協議会において当該11件のプログラム変更の実施についてご審議いただきたい。

※ご要望内容の重複を集約した数字であり、実際のご要望数は195件

- ご提出いただいたプログラム変更要望148件に係る検討結果については、以下のとおりです。

	検 討 結 果	件 数
1	平成30年度にプログラム変更を実施する予定の件数（別紙1）	11
2	平成29年度に緊急プログラム変更として対応した件数（別紙2）	20
3	継続案件（ご要望内容の再確認等を実施のうえ、平成30年度以降に実施可否も含めて検討）	9
4	その他	108
	① 他の機能や業務により対応可能であるもの（プログラム変更は不要）	(26)
	② 第6次NACCS更改時に仕様変更を実施したもので当面は利用状況を見るべきもの	(17)
	③ 法令上の制限や関係省庁の運用に支障があるため対応が困難なもの	(7)
	④ システム上実現が困難なもの（改変した場合にシステム負荷が多くなる案件等）	(23)
	⑤ システムの改修規模が多（改修経費が高額、ご利用者様の自社システムへの影響が大きい案件等）	(35)
	計	148

プログラム変更案件一覧

- I. 平成30年度プログラム変更として実施したい案件（別紙1）

- II. 平成29年度緊急プログラム変更実施案件（別紙2）
 - II-①. 民案件
 - II-②. 官案件及びその他

- III. 今後のプログラム変更について（別紙3）

I. 平成30年度プログラム変更として実施したい案件 ①

No	ご 要 望 内 容	変 更 内 容
1	第5次NACCSでは「輸出貨物情報登録呼出し（ECR11）」業務において、「船積指図書（S/I）情報登録（SIR）」業務で登録された「記号番号」の呼出しが可能であったが、第6次NACCSではSIR業務の記号番号欄の桁数増に伴い、記号番号の呼出し不可となっている。SIR業務で登録した「記号番号」をECR11業務で呼出し可能となるように変更して欲しい。	SIR業務で登録された「記号番号」について、ECR業務の「記号番号」欄の桁数の範囲内で呼び出せるように変更する（ECR業務の桁数を超える場合は、超える部分を削除とする。）。
2	蔵入（IS）、移入（IM）の対象貨物の到着確認については、税関官署へ報告後、税関が「蔵入・移入・総保入・展示貨物到着確認（CAS）」業務を行っているが、民間において確認登録ができるようにして欲しい。	民間において確認登録が可能となるよう、CAS業務の見直し（CAS相当の新規業務の検討も含む）を実施する。
3	航空貨物取扱IS（蔵入）貨物搬入登録を、税関官署へ依頼後であっても、「貨物情報照会（IAW）」業務で照会しても依頼者側ではCAS業務の履歴がないため、履歴が見れるようにして欲しい。	IAW業務において、CAS業務の実施履歴を照会可能とする。
4	税関に対してWebNACCSでB業務「入港届（転锚届）（WIT）」業務を行うと乗組員情報処理識別は常に「マニュアル処理識別：38」が出力されるが、「入港前統一申請（外航）（WPT）」業務でシステム処理を選択している場合は、システム処理の選択を可能として欲しい。	B業務の「入港届（転锚届）（WIT）」業務の入力画面に、項目を追加しシステム処理かマニュアル処理を選択できるように変更する。
5	航空の保税運送申告において、税関による承認が行われた場合の出力情報は、入力者のみに出力されているが、出力情報を入力者以外の発送地、到着地の保税蔵置場にも出力先として設定可能となるように変更して欲しい。	「保税運送申告（一般）（OLT01）」業務、「保税運送申告（一括）（GOL01）」業務、「保税運送申告審査終了登録（CET01）」業務において、発送地（GOL業務を除く）及び到着地宛に承認情報と同等のEXC型帳票を出力するように変更する。また、承認後の訂正、取消についても、同様に出力対象とする。 なお、当該出力可否の設定を保税地域単位に設定可能となるよう、「保税地域関連情報登録（UBA）」業務に設定項目の追加を行う。

I. 平成30年度プログラム変更として実施したい案件 ②

No	ご 要 望 内 容	変 更 内 容
6	「入港前統一申請〈内航〉(WPT)」業務の①申請等呼出及び②ファイル読み込み機能に危険物情報等を読み込む機能を追加して欲しい。また、③「書類状態確認(WVS)」業務に危険物情報を一緒にダウンロードする機能を追加して欲しい。	①申請等呼出について、乗組員・旅客・危険物情報を手入力で入力・申請した場合は呼び出し可能とする。 ②③については、変更規模が大きいため、継続案件として検討する。
7	現在、通関業者向けに配信される管理資料「輸出申告一覧データ(H01)」では、少額申告扱いの場合、「代表統番」欄に「代表輸出統計品目番号」は出力しない仕様となっているが、少額申告でも、統計品目番号の入力を行った場合は、データとして出力して欲しい。	「輸出申告一覧データ」について、輸出申告、積戻し申告又は特定輸出申告に係る少額扱いに関して、統計品目番号の入力がある場合は、統計用品目番号4桁又は6桁を出力するように変更する。
8	管理資料「航空輸出貨物搬出データ(S14)」に関して、カルネ通関等で税関がNACCSに「許可・承認等情報登録(輸出通関)(PAE)」業務で登録を行った実績が反映されていないため、これを反映するように変更して欲しい。	PAE業務及び「許可・承認等情報登録(監視)(PAK)」業務において、マニュアル許可を行った実績について、管理資料S14の収集対象となるよう変更する。
9	保税工場へのIM(移入)申請を行う際、誤ってIS(蔵入)申請を行うと、チェック機能が無く、承認される場合がある。本来、保税工場へのISは不可とすべきと思われるので、保税工場へは蔵入申請できないように、申請時にガードを欲しい。	「輸入申告事項登録(IDA)」業務等において、「蔵入等先保税地域コード」欄に保税工場の保税地域コードが入力された場合は、ワーニング処理とする機能等を追加する。
10	輸出貨物を保税蔵置場間で移動させる場合、移動元の保税蔵置場で「搬出確認登録(輸出許可済)(BOC)」業務が行われないと、搬入先蔵置場で貨物情報の照会を行うことができない。「輸出貨物情報登録(ECR)」業務でバンニング場所(蔵置コード)の登録が行われているので、BOC業務未実施であっても貨物情報の照会を可能として欲しい。	ECR業務において「経由地」が登録されている場合、当該経由地の保税蔵置場であれば、BOC業務実施前であっても、「貨物情報照会(ICG)」業務による照会を可能とする。
11	搬出元において「搬出確認登録(輸出許可済)(BOC)」業務後に取消が行われた場合、搬出先にNACCSから出力される情報は、搬出番号と輸出管理番号だけとなっているが、本船名、ブッキング番号も出力して欲しい。	BOC業務後に取消が行われた場合にも出力する「搬出取消通知情報(SAT012)」に、本船名、ブッキング番号を追加する変更を実施する。

Ⅱ. 平成29年度緊急プログラム変更実施案件

別紙2

Ⅱ-① 民案件

No	事 項	リリース時期
1	「システム外搬入確認（輸入貨物）（B I B）」業務の仕様変更	平成29年10月19日
2	「入港前統一申請（W P T）」業務における錨地予約の訂正時エラー	平成29年10月26日
3	乗員上陸支援システム宛の船長名必須チェック見直し	平成29年10月26日
4	乗員上陸支援システム宛の船舶資格チェックの変更	平成29年11月7日
5	「申告添付登録（M S X）」業務の添付ファイル容量最大3 M Bへの変更	平成30年1月1日
6	「貨物情報照会（I C G）」業務の印刷テンプレート変更	平成30年1月21日
7	「許可・承認貨物（輸入）情報」（S A D 4 3 1）等の印刷仕様の変更	平成30年1月21日
8	「許可・承認等登録通知情報（輸入通関）」（S A D 4 6 3）等の印刷仕様の変更	平成30年1月21日
9	「貨物取扱登録（改装・仕分）（C H S / C H S 0 1）」業務における管轄税関チェックの廃止	平成30年1月21日
10	「見本持出許可申請（M M A）」業務における管轄税関チェックの廃止	平成30年1月21日
11	「輸出貨物取扱登録（内容点検）呼出し（A H N）」業務等（11業務）の仕様変更	平成30年1月21日

II. 平成29年度緊急プログラム変更実施案件

別紙2

II-① 民案件（続き）

No	事 項	リリース時期
12	「ACL情報登録（コンテナ船用）（ACL01）」業務及び「ACL情報登録（在来船・自動車船用）（ACL02）」業務の仕様変更	平成30年3月18日 予定
13	申告可能者の拡大（共有関係利用者への対応）	平成30年3月18日 予定
14	会計検査院向け提出書類で簡易審査扱いとなった際の審査区分を「1」に変更	平成30年3月18日 予定
15	「通関士審査結果登録（CCA）」業務関連の仕様変更	平成30年3月18日 予定
16	関税割当証明書関連の法人番号チェックの仕様変更	平成30年3月18日 予定
17	関税割当証明書関連情報の輸入者向けへの出力対応	平成30年3月18日 予定
18	修正申告、更正通知、輸出許可内容変更通知、輸出取止め再輸入許可通知情報の輸入者向けへの出力対応	平成30年3月18日 予定
19	クルーリストにおける身分証明書有効期限欄の入力チェック改善	平成30年3月18日 予定
20	「入港前統一申請（WPT）」業務におけるエラーメッセージの改善	平成30年3月18日 予定

II. 平成29年度緊急プログラム変更実施案件

別紙2

II-② 官案件及びその他

(1) NACCS

No	事 項	リリース時期
1	「積荷目録情報訂正（次船卸港の追加）」業務の税関向け電文の仕様変更 他1件	平成30年1月21日
2	税関向け管理資料の仕様変更 他12件	平成30年3月18日 予定
3	通関情報提供システム（CCIS）提供データに石油製品等移出輸入許可通知情報の追加	平成30年3月18日 予定
4	動物輸入事前届出取止機能追加 他6件	平成30年3月18日 予定
5	輸入食品監視支援業務の官側の画面サイズ変更機能の追加	平成30年3月18日 予定
6	医薬品医療機器等輸入報告申請業務の項目内容の変更	平成30年3月18日 予定

(2) 貿易管理サブシステム

No	事 項	リリース時期
1	許可承認証への英文表示を可能とする変更 他8件	平成30年3月18日 予定

